



令和6年度 61期生 修学旅行 (長崎 九州)



令和6年11月12日から令和6年11月15日まで2年生が九州方面 長崎への修学旅行に行っていました。

11月12日 一日目 米原～大宰府天満宮～宿舎へ

先週までの冬を思わせるような冷たい空気はどこに行ったのか。12日の朝は穏やかで暖かな日でした。
米原駅を出る新幹線ひかり 631号に乗って京都へ向かい、京都駅からはのぞみ9号に乗り換えます。
短い停車時間に効率よく乗り換えを行うために、前日の結団式では座席配置に沿って並ぶ練習をしました。



朝の米原駅の連絡通路は
61期生でいっぱいです。

改札を抜けて、ホームへと移動
します。



新幹線の車内では
にぎやかに交流する様子が
ありました。



無事に博多に到着。
4日間お世話になる、みやざき高山バスが私たちの
到着を待っていました。
赤いバスの車体が晴れた九州の地に映えます。



大宰府天満宮

大宰府天満宮は、学問の神様といわれる菅原道真公を祭神とした神社です。
境内には、心の字の形をした池にかかる太鼓橋や楼門などの文化財や自然豊かな庭園が見られます。
現在本殿は改修中であり、期間限定の仮本殿でのお参りをすることができました。



楼門を背景に、クラスごとに写真撮影を行いました。



現在の社殿は仮社殿です。
屋根に森の風景が広がる趣ある社殿でした。



おみくじをひきました。

次の進路への受験は来年になりますが、皆さんが自らの思う進路に進めますように。



大宰府を出て高速に乗り一路長崎に向かいます。途中、大村湾を車窓から見るなど綺麗な九州の景色を楽しみました。

長崎市内に入り、バスはゆっくりと坂道を登っていきます。深坂によって、坂には慣れている私たちもびっくりするくらいの急こう配でした。



坂を登っていくにつれて、見える景色が広がってきます。

長崎は坂の町。聞いてはいたものの、強く実感できる光景がホテルの前には広がっていました。



日没すぐのホテルからの光景



食事会場前からの長崎市内の夜景

二日目は、希望に分かれての見学です。

2015年（平成27年）、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」がユネスコの世界文化遺産に登録された端島炭鉱がある端島。通称「軍艦島」は明治時代から昭和時代にかけて海底炭鉱によって栄え、日本初の鉄筋コンクリート造の高層集合住宅も建造されるなど、1960年代には東京以上の人口密度を有していたそうです。周りの海流の影響や海の状態などにより、天候が良くても上陸できないことがあると聞いていたため、実際に島に上陸するまでは緊張しました。



全員がライフジャケットを着て、船に乗り込みます。

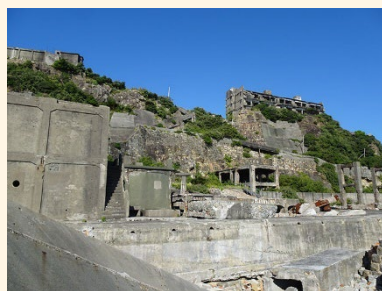
途中は長崎港や周りの島についてのガイドを受けながら軍艦島へ向かいます。



天候が良く、穏やかな海のクルーズでした。海を渡る風が心地よく周りの景色もきれいに見えました。



米原高校61期生 端島（軍艦島）上陸！



島内では、指定された3か所の場所で、ガイドの方から説明を受けました。

映像や写真では分からない、現地に立ったからこそわかる空気がそこにありました。当時住んでいた方々の努力や島の繁栄、廃墟となったかつての都市のはかなさ…補修や保存はされても、風や波の浸食によってなくなっていく街の思い出を、生徒のみなさんは感慨深くそれぞれの胸に残してくれていたようでした。



一方、ペンギン水族館は…

残念ながら、鳥インフルエンザの発生のために、バックヤード体験はなくなったものの、9種類ものペンギンを集めた水族館の見学を行いました。

亜南極帯、温帯に分かれたペンギンの展示や長崎の海を切り取ったような長崎近海の魚類展示などを楽しむことができました。



ペンギン水族館見学後は、世界遺産大浦天主堂の修復も手掛けるガラス工房「瑠璃庵」さんでガラス工芸の体験を行いました。



思い出に残る素敵な作品はできましたか？

お昼ごろから軍艦島、ペンギン水族館の班が合流し、長崎市内自主研修を行いました。

それぞれの場所で班ごとにみなさんが楽しそうに研修をしている様子がうかがえました。





市内で会うみなさんはとてもいい笑顔でした。
長崎の美味しいものを食べられましたか？

バスは二泊目の宿泊地 佐世保に向かいます。



二日目の宿泊先は翌日の活動場所
のハウステンボスから近いパラ
ダイスガーデン佐世保にお世話にな
りました。



食事会場で晩御飯を食べた後は
修学旅行委員が中心となって企画運
営をしてくれた学年レクリエーショ
ンです。



修学旅行委員のみなさん



お誕生日
おめでとう！

クラス対抗のクイズ大会を実施したり、ジェスチャーゲームをしました。
また、有志による歌やダンスを学年全体で楽しみました。





11月14日 三日目 ハウステンボス

お世話になったホテルを出発し、三日目はハウステンボスでの班別行動です。

入園後、初めにハウステンボス職員 山元美由紀さんによるSDG sについての講演会です。



広大な荒地であったハウステンボスが地域の環境に配慮して、長崎の文化や歴史を基に、SDG s の観点に基づいた園の運営を行っていることをお話しくださしました。

単なるテーマパークではないハウステンボスの魅力を、お話を伺うことで改めて感じました。

生徒の中には熱心にメモを取っている人もいました。

講演後のハウステンボス班別行動中には、テーマの道を通りながら舗装されていないレンガの道や共同溝の存在に聞いたお話のことを思いました。





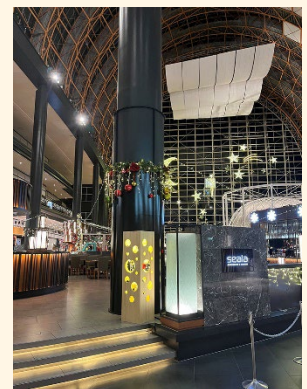
班別行動では、美味しいものを食べたり、きれいなものを見たり、様々な体験をしている生徒のみなさんの姿がありました。ハウステンボス内はクリスマスの飾りつけがされ、とてもきれいでした。

ハウステンボス班別行動後は、福岡の宿泊先へ移動です。

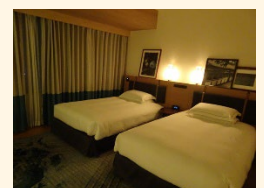
ヒルトン福岡シーホークにて食事をとり、宿泊しました。



雰囲気の良い食事会場で、ビュッフェ形式で食事を楽しみました。



しっかり休んで、明日は最終日です。



11月15日 最終日 門司港レトロ 関門海峡

ホテルを出発し、向かうのは門司港、関門海峡です。

修学旅行最後の目的地は九州と本州の境となる場所です。



関門海峡大橋です。

最終日の天気はちょっと雨模様でした



人道トンネルを渡し、徒歩で山口県へ向かうグループや



船で本州へ渡る人たちもいます



最後の見学を楽しんで終え、前団、後団に分かれて滋賀へと帰ってきました。

今年度の修学旅行も無事に終えることができました。

お世話になりました日本旅行様、宮崎高山バスの運転手、ガイドのみなさん、三泊の宿泊先の方々、見学や研修先で米原高校61期生にご対応くださったみなさん、そして生徒たちを快く送り出してくださった保護者の皆様。本当にありがとうございました。

様々な研修先で、生徒たちが日常よりも良い表情で楽しそうに過ごしている様子がありました。修学旅行を大きな学びとして、今後も成長を積み重ねていってくれると期待しています。